

平成23年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

(氏名) 緑川 源治

平成22年10月29日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ

上場取引所 東

コード番号 9887 URL http://www.matsuyafoods.co.ip

代表者(役職名)代表取締役社長

問合せ先責任者(役職名)常務取締役財務経理部長 (氏名)鈴木 治夫 TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日 配当支払開始予定日 平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日~平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	33,730	10.6	1,745	97.4	1,733	103.5	740	112.3
22年3月期第2四半期	30,508	△0.1	884	11.7	851	9.5	348	49.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
23年3月期第2四半期	38.88	_
22年3月期第2四半期	18.31	_

(2) 連結財政状態

(=) (C-1A)>() (1.0)									
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産					
	百万円	百万円	%	円 銭					
23年3月期第2四半期	47,911	30,137	62.9	1,581.37					
22年3月期	47,852	29,625	61.9	1,554.48					

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 30.137百万円 22年3月期 29.625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭		
22年3月期	_	12.00	_	12.00	24.00		
23年3月期	_	12.00					
23年3月期 (予想)			_	12.00	24.00		

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高 営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	69,000	10.5	3,800	49.2	3,700	46.6	1,500	46.1	78.68

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

- 4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。)
- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 0社 (社名)、 除外 0社 (社名

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
 - (注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。
- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 - ② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

)

- (4) 発行済株式数(普通株式)
 - ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 19,063,968株 22年3月期 19,063,968株 ② 期末自己株式数 23年3月期2Q 6,226株 22年3月期 6,126株 ③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 19,057,790株 22年3月期2Q 19,058,203株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品 取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等について は、[添付資料]P.3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1	. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2)連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3)連結業績予想に関する定性的情報	3
2	. その他の情報	3
	(1)重要な子会社の異動の概要	3
	(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
	(4)継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3	. 四半期連結財務諸表	4
	(1)四半期連結貸借対照表	4
	(2)四半期連結損益計算書	6
	(第2四半期連結累計期間)	6
	(第2四半期連結会計期間)	7
	(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4)継続企業の前提に関する注記	9
	(5)セグメント情報	9
	(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4	. 補足情報	10
	(1)生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米での金融不安の影響による海外景気の下振れ懸念や、円高の影響、雇用不安など、先行き不透明な状況が続いております。さらに、外食業界におきましては、個人消費の低迷により市場規模縮小が進む中、業界内部における競争のみならず、中食業界のマーケット拡大等の業界を越えた競争激化に加え、食の安全・安心に対する消費者意識の一層の高まりから、各企業の取り組み姿勢が厳しく問われる状況へと変化し、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下の諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、直営の牛めし定食店21店舗、ラーメン新業態「麺ダイニングセロリの花」3店舗の、計24店舗を出店いたしました。一方で、直営店4店舗につきましては撤退いたしました。その結果、当第2四半期末の店舗数はFC店及び一時休業店を含め、811店舗(うちFC6店舗、海外5店舗)となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店771店舗、鮨業態11店舗、とんかつ業態20店舗、その他の業態9店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、43店舗の改装(全面改装 5 店舗、一部改装38店舗)を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、4月に「新生活応援キャンペーン」として「牛めし」の値引きキャンペーンを実施し、6月以降も期間限定で「牛めし」の値引きキャンペーンを毎月実施してまいりました。また、安全・安心に対する消費者意識の一層の高まりを受け、化学調味料・人口甘味料・合成着色料・合成保存料を使用しない「牛めし」「フレッシュトマトカレー」「鶏めし」を商品開発し販売したほか、豚バラ肉を使用した「豚バラバーベキュー定食」「豚バラ生姜焼き定食」、7月には「うまトマハンバーグ定食」、9月には「豚と茄子の辛味噌炒め定食」といった季節感を意識した商品の販売を実施し、価格以外の商品の訴求についても実施してまいりました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店が前年比105.3%と前年を上回った事に加え、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したことにより、前年同期比10.6%増の337億30百万円となりました。

売上原価率につきましては、前年同期の32.4%から33.3%となりました。これは、主に「牛めし」の値引きキャンペーンの実施によるものです。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.7%から61.5%へ改善いたしました。この要因は、人件費の売上高に占める割合が、店舗売上高の増加と店舗における生産性向上の取り組みにより、前年同期の34.1%から32.4%と改善した事や、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の30.6%から29.1%と改善したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト(売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト)の売上高比は、前年同期の66.5%から65.7%と改善しております。

以上の結果、営業利益は前年同期比97.4%増の17億45百万円、経常利益は同103.5%増の17億33百万円、当期純利益は同112.3%増の7億40百万円と、いずれも前年同期を大幅に上回りました。

なお、当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は479億11百万円となり、前連結会計年度末比59百万円増加いたしました。このうち、流動資産は101億4百万円と、前連結会計年度末比4億15百万円減少いたしました。また、固定資産は、378億7百万円と、出店等による有形固定資産の増加により、前連結会計年度末から4億75百万円増加いたしました。

当第2四半期末における負債は177億74百万円となり、借入金の減少等によって前連結会計年度末比4億52百万円減少いたしました。

当第2四半期末における純資産は301億37百万円と、前連結会計年度末比5億12百万円増加となり、自己資本比率は前連結会計年度末の61.9%から62.9%へと改善しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ13億89百万円減少し、27億42百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17億2百万円(前年同期は17億円の収入)となりました。

これは「税金等調整前四半期純利益」14億84百万円や「減価償却費及びその他の償却費」11億95百万円といった 資金増加要因があった一方、「たな卸資産の増減額」10億57百万円といった資金減少要因があったこと等によるも のであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は15億55百万円(前年同期は14億12百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」 12億56百万円や「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」3億84百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は15億34百万円(前年同期は7億96百万円の支出)となりました。

これは「短期借入れによる収入」16億52百万円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」18億25百万円や「短期借入金の返済による支出」10億37百万円、「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月27日に公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当該予想数値に関する事項は、平成22年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

(経過勘定項目の算定方法)

連結財務諸表等の作成に際しては、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、一部簡便な方法を採用しております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1.資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間における営業利益及び経常利益は24,728千円減少し、税金等調整前四半期純利益は218,410千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は423,078千円であります。

2. 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表 分)及び「持分法適用関連会社の会計基準に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日) を適用しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間における影響はありません。

(4)継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

(単位:千円)

3 . 四半期連結財務諸表 (1)四半期連結貸借対照表

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,947,726	7,337,943
受取手形及び売掛金	248,601	305,614
商品及び製品	241,587	232,495
原材料及び貯蔵品	2,438,563	1,399,573
繰延税金資産	474,071	474,729
その他	753,675	769,620
流動資産合計	10,104,226	10,519,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,414,541	11,078,854
機械装置及び運搬具(純額)	928,937	976,373
工具、器具及び備品(純額)	1,173,775	1,166,102
リース資産(純額)	121,138	91,291
土地	8,786,030	8,786,030
建設仮勘定	192,161	169,040
有形固定資産合計	22,616,584	22,267,694
無形固定資産		
ソフトウエア	126,033	150,023
その他	61,415	24,069
無形固定資産合計	187,449	174,092
投資その他の資産		
投資有価証券	244,940	207,705
敷金及び保証金	12,512,836	12,573,333
長期前払費用	504,079	503,156
店舗賃借仮勘定	168,569	102,142
繰延税金資産	682,407	615,941
投資不動産(純額)	637,041	646,553
その他	272,380	262,637
貸倒引当金	18,753	21,108
投資その他の資産合計	15,003,502	14,890,363
固定資産合計	37,807,536	37,332,149
資産合計	47,911,762	47,852,125

		(羊瓜・川」)
	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成22年 9 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,015,202	1,670,722
短期借入金	1,663,706	1,052,223
1年内返済予定の長期借入金	3,099,892	3,528,546
未払金	1,817,237	1,812,696
リース債務	29,392	20,491
未払法人税等	872,474	854,786
賞与引当金	819,988	810,376
役員賞与引当金	14,600	28,550
資産除去債務	553	-
その他	587,261	679,871
流動負債合計	10,920,307	10,458,265
固定負債		
長期借入金	5,537,820	6,934,964
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	95,028	72,246
資産除去債務	461,967	-
その他	177,184	179,446
固定負債合計	6,854,099	7,768,757
負債合計	17,774,407	18,227,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	16,540,676	16,028,488
自己株式	12,304	12,175
株主資本合計	30,147,448	29,635,390
評価・換算差額等		· · ·
その他有価証券評価差額金	33	61
為替換算調整勘定	10,059	10,225
評価・換算差額等合計	10,093	10,286
純資産合計	30,137,355	29,625,103
負債純資産合計	47,911,762	47,852,125

(2)四半期連結損益計算書 (第2四半期連結累計期間)

		(単位:十日)
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
売上高	30,508,044	33,730,345
売上原価	9,871,272	11,234,691
売上総利益	20,636,772	22,495,654
販売費及び一般管理費	19,752,671	20,750,027
営業利益	884,101	1,745,626
営業外収益		
受取利息	20,045	16,115
受取配当金	165	917
受取賃貸料	118,084	122,474
その他	49,071	56,895
営業外収益合計	187,365	196,402
営業外費用		
支払利息	98,175	82,440
賃貸費用	104,629	113,923
その他	16,961	12,177
営業外費用合計	219,766	208,541
経常利益	851,700	1,733,486
特別利益		
固定資産売却益	15,361	-
賞与引当金戻入額	7,296	1,897
貸倒引当金戻入額	3,852	2,355
会員権売却益	3,112	-
受取保険金	22,928	-
収用補償金	-	30,166
立退料収入	22,000	
特別利益合計	74,550	34,419
特別損失		
固定資産除却損	17,281	35,182
店舖閉鎖損失	35,362	27,841
固定資産売却損	-	164
減損損失	80,454	42,192
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	178,254
リース解約損	380	-
和解金	2,000	200
特別損失合計	135,479	283,835
税金等調整前四半期純利益	790,772	1,484,070
法人税、住民税及び事業税	397,674	809,013
法人税等調整額	44,194	65,825
法人税等合計	441,868	743,188
少数株主損益調整前四半期純利益		740,881
四半期純利益	348,904	740,881

(第2四半期連結会計期間)

		(半位・1円)
	前第 2 四半期連結会計期間 (自 平成21年 7 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成22年 7 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)
	15,255,584	17,099,839
売上原価	4,885,833	5,649,260
売上総利益	10,369,750	11,450,579
販売費及び一般管理費	9,861,032	10,382,718
営業利益	508,718	1,067,861
営業外収益		
受取利息	10,126	8,175
受取配当金	150	900
受取賃貸料	59,104	62,389
その他	19,506	30,774
営業外収益合計	88,887	102,239
営業外費用	•	
支払利息	48,885	40,343
賃貸費用	52,714	57,011
その他	8,498	6,025
営業外費用合計	110,098	103,380
経常利益	487,507	1,066,720
特別利益		
固定資産売却益	11,174	-
貸倒引当金戻入額	10	-
受取保険金	22,928	-
収用補償金	<u> </u>	30,166
特別利益合計	34,112	30,166
特別損失		
固定資産除却損	12,554	18,103
店舗閉鎖損失	25,094	24,000
減損損失	80,454	42,192
リース解約損	380	-
和解金	2,000	200
特別損失合計	120,484	84,495
税金等調整前四半期純利益	401,135	1,012,391
法人税、住民税及び事業税	325,585	706,929
法人税等調整額	102,347	248,716
法人税等合計	223,238	458,213
少数株主損益調整前四半期純利益	-	554,177
四半期純利益	177,897	554,177
— 1 Muπ.1.0 wτw 1 →		507,177

(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 平成21年4月1日	(自 平成22年4月1日
	至 平成21年9月30日)	至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	790,772	1,484,070
減価償却費及びその他の償却費	1,181,808	1,195,208
減損損失	80,454	42,192
賞与引当金の増減額(は減少)	11,760	9,611
受取利息及び受取配当金	20,210	17,032
支払利息	98,175	82,440
有形固定資産除売却損益(は益)	1,919	3,753
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	178,254
店舗閉鎖損失	28,104	27,604
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費 用	222,487	241,651
売上債権の増減額(は増加)	119,997	56,941
たな卸資産の増減額(は増加)	20,862	1,057,803
仕入債務の増減額(は減少)	207,772	344,777
未払消費税等の増減額(は減少)	107,210	95,452
その他	125,105	909
小計	2,486,014	2,495,308
法人税等の支払額	785,189	793,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,700,825	1,702,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による 支出	951,305	1,256,730
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による 支出	465,415	384,146
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による 収入	69,763	150,570
利息及び配当金の受取額	3,138	1,560
その他	69,042	66,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,412,862	1,555,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	586,062	1,652,988
短期借入金の返済による支出	578,415	1,037,040
長期借入れによる収入	1,500,000	-
長期借入金の返済による支出	1,973,208	1,825,798
リース債務の返済による支出	2,870	14,771
自己株式の取得による支出	539	129
利息の支払額	98,771	81,080
配当金の支払額	228,702	228,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	796,445	1,534,524
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,810	1,169
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	503,671	1,389,038
現金及び現金同等物の期首残高	3,699,918	4,131,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,196,246	2,742,725
		

(4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(5)セグメント情報

当社グループにおいては、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月23日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、第1四半期連結会計期間において利益剰余金が228,694千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	228,694	12	平成22年3月31日	平成22年 6 月24日	利益剰余金

4.補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は、直営店で最終消費者へ牛めし、定食等を直接販売する方法 (直営販売形態)及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品等の販売を通じて、最終消費者へ牛 めし・定食を販売する方法(外部販売形態)による単一業態での事業を営んでおり、事業の種類別生産実績及び事 業の種類別販売実績を把握しておりません。

このため、生産実績及び販売実績の記載は、形態別に基づく実績によっております。

1.生産実績

当社は、セントラルキッチン方式により嵐山工場及び富士山工場にて単一食材(主に、肉類、米類、野菜類、タレ・ソース類)を加工し店舗へ供給する単一業態による生産を行っております。

当社の形態別販売実績合計に対する生産実績は、次のとおりであります。

形態別	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	
	金額 (千円)	前年同期比(%)
肉類	3,197,627	134.4
米類	2,259,983	112.3
タレ・ソース類	1,382,300	109.3
野菜類	954,558	108.4
その他	244,711	82.3
合計	8,039,181	117.6

⁽注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2.受注状況

当社グループは、受注活動を行っていないため、該当事項はありません。

3.販売実績

当社グループは、直営店で最終消費者へ牛めし・定食等を直接販売する方法及びフランチャイズ店並びにその他の取引先へ食材、消耗品の販売を通じて、最終消費者へ牛めし・定食等を販売する方法をとっております。

このように当社グループは、単一業態で事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報を記載することが困難なため形態別販売実績を記載しております。

(形態別販売実績)

(形態別級冗夫網)			
形態別	当第2四半期連結累計期間		
		至 平成22年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	
直営店売上			
牛めし定食事業	31,520,763	93.5	
とんかつ事業	722,707	2.1	
鮨事業	486,526	1.4	
その他	92,125	0.3	
小計	32,822,122	97.3	
外部販売売上			
食材売上	543,206	1.6	
子会社売上	328,823	1.0	
ロイヤルティ等収益	36,193	0.1	
小計	908,223	2.7	
合計	33,730,345	100.0	

(注)1.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 . 子会社売上の内訳

(株)エム・テイ・テイ(修繕・メンテナンス売上等)91,194千円(株)エム・エル・エス(クリンリネス事業売上等)26,069千円Matsuya Foods USA, Inc. (飲食事業売上)211,559千円